

令和6年度 標茶町立中茶安別小中学校のグランドデザイン

【学校教育目標】

「大地に自分の足でしっかり立て」

- ・ 仲良く、思いやりのある子ども（徳）
- ・ 深く考え、工夫する子ども（知）
- ・ 仕事に責任を持ち、進んで働く子ども（自）
- ・ 健康で、がまん強い子ども（体）

目指す教師像

- ・ 自分で考えて行動する子供
- ・ 自分をレベルアップさせる子供
(読んで、聞いて、考え、話す力)
- ・ 相手のことを考える子供

目指す教師像

- ・ 情熱と愛情をもって、人間性と専門性を高める教師
- ・ 自ら研修に努め、授業改善に意欲的に取り組む教師
- ・ 生徒の意欲を引き出し、よりよく生きる態度を育てる教師
- ・ 目標や課題に向かって、共通理解のもと、**組織的・自律的に**取り組む教師

目指す学校像

- ・ 【子どもにとって】生き生きと学び、充実感を味わいながら自己の成長を実感できる楽しい学校
- ・ 【家庭・地域にとって】子どもを安心して通わせ、開かれた信頼できる学校
- ・ 【教師にとって】家庭・地域に信頼され、自信をもって教育活動に取り組めるやりがいのある学校

学校課題：豊かな心を持ち、たくましく生きる力と自立心に満ちたふるさとを愛する児童生徒

この学校教育目標、学校課題を具現化するために、今年度は、「**組織力強化**」「**危機管理**」「**働き方改革**」をキーワードに、以下の4つを重点に教育活動を進めていきます。

働き方改革：子どもと向き合う時間の確保を最優先に。子どものために職員の協働体制の強化

組織力強化：教員の資質を高め、保護者・地域との連携を一層強化

危機管理：**火災や地震等の不測の事態に備えた危機管理マニュアルに基づく日頃からの準備や訓練**

《重点1》期待に応え信頼される学校づくりを進めるため、家庭・地域との連携強化

- ・ 学校と家庭・地域、保・小中・高との連携を**進めると共に**、PTAやコミュニティ・スクールを活かし**教育活動を活性化**します。
- ・ 期待に応え、信頼される学校づくりを進めるため、学校評価を効果的に活用します。

《重点2》授業改善と家庭学習の習慣化を進め、確かな学力を育成

- ・ **自分をレベルアップさせる子供を目指し**、「わかる授業」「確かな学力の定着」**に向けた**授業改善と共に一人一台端末の日常使用を進めます。
- ・ コミュニケーションの基盤となる「**話す・聞く力**」の充実を図ります。
- ・ 家庭の協力を得ながら、家庭学習習慣の定着と家庭学習内容の充実を図ります。

《重点3》体験的な活動や道徳教育を充実させ、豊かな心を育成

- ・ 仲間意識の醸成と**相手のことを考える力**を養い、いじめのない学校づくりを進めます。
- ・ 感動する心を育み、豊かな心を培う体験的な活動を充実させます。（学校林活動、総合的な学習の時間、キャリア教育等の充実）
- ・ 子どもの心に響く道徳科の授業を推進します。
- ・ **様々な活動場面では自分で考えて行動する力を育てます。**

《重点4》健康増進や体力向上を目指した指導を充実させ、健やかな体を育む

- ・ **朝の活動時間を活用し**、意図的計画的な体力づくりを推進します。
- ・ 運動時間と運動量を確保した体育の授業の充実を図ります。
- ・ 家庭との連携を図りながら、基本的な生活習慣の確立を図ります。（保健指導、健康相談の実施と生活リズムチェックシートの効果的な活用）

家庭・地域との連携を深め、知・徳・体をバランスよく育む